

# 最優秀賞は「ぜっとせだい」

## 第15回創作漢字コンテスト

産経新聞社は、「100年後まで残る漢字を作ってみませんか」をテーマに募集した第15回創作漢字コンテストの審査委員会を開き、応募作品2万632点の中から、グランプリの「白川創作漢字最優秀賞」に京都府宇治市の中学生・西川叶愛さん（12）の「ぜっとせだい」が選ばれました。



「ぜっとせだい」

### 【コメント】

・西川叶愛さん（12）※年齢は応募時点

「このような賞をいただき、大変ありがとうございます。最近『Z世代』という言葉がたくさん目にします。私もZ世代に生まれたので、それを漢字に表したいと思いました。パット見たときに印象に残る漢字にできました」

・審査委員長の加地伸行氏（立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所元所長）

「この創作漢字、今年をもって15回となる。応募総数はここ数年2万点を超える盛況である。やはり、国語に対する関心が高いこと、また小学生でも参加できることがその盛況を支えている。今回の最優秀作品は中学生の作品である。なかなかの工夫とすぐれたアイデアによって作られ、多数の審査員の同意によって決まった」

対象別に社会人・大学生、高校生、小・中学生の3部門で審査を実施。入賞作は最優秀賞のほか、富国生命優秀賞（社会人・大学生対象）2点、Z会優秀賞（高校生対象）1点、同（小・中学生対象）2点、富国生命・審査委員長特別賞（全応募者対象）5点、成語・成句特別賞2点、計13点です。佳作、学校賞は該当なし。

【主催】産経新聞社、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所 【特別協賛】富国生命

【問い合わせ先】「創作漢字コンテスト」事務局 メール：[sousaku-kanji@sankei.co.jp](mailto:sousaku-kanji@sankei.co.jp)